

事務事業名		民間保育所入所委託事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	保育課
	政策	2 安心して子育てのできるまちづくり					担当係	保育係		担当課長名	川俣 浩
	施策	2 子育てと仕事の両立支援					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 多様で弾力的な保育サービスの充実					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	6460	一般	3	2	5	民間保育所入所委託事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S49年度～ 年度		根拠法令 条例等	児童福祉法					
							市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
						任意的事業・義務的事業		義務的事業			
						実施方法		全面委託			
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
民間保育所(私立認可保育所および私立認定保育所)へ入所した児童数に応じ委託料を支出する。ただし、私立認定保育所については、保育料が直接園に入るため、その分を差引いて支出する。			<延入所児童数> ※広域受託数含まず 風の子保育園 1,333人、大栗保育園 1,160人、飛駒保育園 714人、救世軍佐野保育園 1,390人 メイプルキッズ 1,441人、こぼと 692人、育成館 655人								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
民間保育所へ支弁した委託料			千円	527,302	529,515						
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
民間保育所設置者及びその利用者			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
民間保育所箇所数			箇所	7	7						
民間保育所入所児童数			人	615	625						
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
児童福祉施設最低基準を遵守し、民間保育所が適正に運営される。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
民間保育所入所児童数/民間保育所申込数			%	82	82						
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
必要な保育サービスが受けられる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
延長保育利用者数			人	751	749						
0歳児・1歳児の入所児童数			人	394	406						

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円	171,998	172,636				
	県支出金	千円	85,999	86,318				
	地方債	千円						
	その他	千円	94,909	98,201				
	一般財源	千円	174,396	172,360				
	事業費計(A)	千円	527,302	529,515	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			委託料	527,302	委託料	529,515		
	人件費	人	1	1				
のべ業務時間	時間	410	410					
人件費計(B)	千円	1,595	1,616	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	528,897	531,131	0	0	0		

事務事業名	民間保育所入所委託事業	担当部	こども福祉部	担当課	保育課	担当係	保育係
-------	-------------	-----	--------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	民間保育所への運営費支出は児童福祉法に定められた市町村の義務である。昭和49年に飛駒保育園の設立に伴い、開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	幼保連携型の認定こども園が開設され、民間保育所入所等の定員が増加傾向にある。幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進する目的で、平成27年度から子ども・子育て支援新制度が施行となるが、児童福祉法の改正や子ども・子育て支援法の制定により、認可保育所と認定こども園の位置づけが大きく変わることになる。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市民や議会からは、保育所等の受入枠拡充を求める意見が多い。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	子育てをする保護者の負担感や不安感を軽減し、仕事と子育ての両立支援を目的としているため、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	民間保育所への運営費として委託料を支弁することは、児童福祉法に規定された市の義務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	民間保育所へ入所した児童への質の良い保育サービスを提供することが目的であり、妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	委託料として支弁する児童1人当たりの保育単価は国が定めているが、幼保連携型の認定こども園が増える見込みがあり、全体の定員が増加傾向にある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	国が定めた保育単価により支弁しているため、削減の余地はない。人件費についても担当者が1人でっており、削減の余地はない。民間保育所増加によりむしろ増加傾向にある。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	入所児童の保護者から前年の所得税及び年齢に基づいて保育料を徴収していることから、適正である。なお、平成27年度から保育料の算定根拠が所得税から市民税に変わることから、新たな保育料条例を制定したところである。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	児童福祉法に定められた事業であり、民間保育所が存在する限り、終了にはならない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
やり方改善(成果向上の見直し)(有効性④の結果) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 平成27年度施行の子ども・子育て支援新制度に合わせて、新たな事務事業として「特定保育施設等給付事業」を創設し、これまでの認可保育所、認定こども園に加えて、地域型保育事業への給付を開始する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					